

平成28年

雲南市議会12月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 平成28年12月12日～14日】

平成 28 年雲南市議会 12 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	12/12(月) 9時30分～	19 / 小林 眞二	一問一答	1～3	11	12/14(水) 9時30分～	15 / 細田 実	一問一答	17～18
2		9 / 佐藤 隆司	一問一答	3～4	12		11 / 藤原 政文	一問一答	18～19
3	12/12(月) 13時00分～	18 / 堀江 治之	一問一答	4～5	13	12/14(水) 13時00分～	10 / 周藤 正志	一問一答	19～21
4		8 / 細木 照子	一括	5～7	14		/	一問一答	～
5		6 / 矢壁 正弘	一問一答	7～8	15		/	一問一答	～
6	12/13(火) 9時30分～	4 / 中村 辰眞	一問一答	9～10					
7		3 / 松林 孝之	一問一答	11～12					
8	12/13(火) 13時00分～	7 / 白築 俊幸	一問一答	12～13					
9		2 / 中林 孝	一問一答	13～14					
10		1 / 上代 和美	一問一答	14～17					

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 木次駅前商業施設について	<p>(1) 来店客や近くの住民の評価をどのようにとらえているか。</p> <p>(2) キーテナント「マルマン」の来店客数やレジ通過人数などはどのような状況か。</p> <p>(3) 現在の従業員総数(正社員、契約社員、パート、アルバイトなど)など雇用状況について伺う。</p> <p>(4) 市が誘致企業として推進されたが、現在における評価を伺う。</p> <p>(5) スーパー誘致交渉過程で、スーパー「トライアル」もあったと聞く。現在、加茂町に出店の話も聞かれるが、その情報や出店した場合の影響及び中心市街地計画にどのような影響が想定されているのか問う。</p>	担当部長
			4. 「出雲たたら村」イベントについて	<p>(1) 市の支援で実施された映画「たたら侍」のオープンセット利用のイベントについて</p> <p>①最終的に人的支援、物的支援、財政支援はどのような内容で終了したか。</p> <p>②全国的なPR効果、地域での経済効果を問う。</p> <p>③当初の見込み収容人数20万人の目標が、結果、およそ6万人であったと聞くが、その要因を問う。</p> <p>④現場跡地は今後どのように活用するのか。</p> <p>⑤この事業全般を通じた評価を問う。</p>	担当部長
			5. デマンドタクシー運行について	<p>(1) 市内で実施されているデマンドタクシーの実施地区及び人数や回数券などの利用状況は。</p> <p>(2) 実施されている地域における利用者の評価及び課題は。</p> <p>(3) 加茂地域自主組織から運行について実施の地域要望も提出されているが、一向に具体化しない。現状はどうか。過去、平成26年12月から平成27年1月に乗降調査などを実施、それを踏まえ庁内検討を行うと</p>	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>示されていたが、その経過を問う。</p> <p>(4)「雲南市民バス再編計画」でバス利用率の検証も必要だが、益々増える高齢者の事故防止や高齢者ドライバー免許返上の推進、高齢者の買物・通院など住民福祉サービスの観点から更なる利便性を図る必要があると考えるが見解を問う。</p>	
2	9	佐藤隆司 (一問一答)	1.4 期目の速水市政の所信について	<p>(1)「安心・安全なまちづくり」について</p> <p>①先般の鳥取県中部地震、福島県沖を震源とする地震、島根原発事故を想定した原子力防災訓練などの教訓から、更に危機管理の重要性が増してきているが市長の認識を伺う。</p> <p>②市民に対して、災害に備えた自主防災組織の必要性や意識の高揚を促すには喫緊の対応が求められると思うが市長の見解を伺う。</p> <p>③今後の対応について、具体的な取り組みの考えはあるのか。</p> <p>(2)「活力と賑わいのあるまちづくり」について</p> <p>①今回の市長、市議会議員選挙ともに無投票当選の結果となった。こうした状況から、活力と賑わいのある持続可能なまちづくりを目指す上で、課題も見えてきたと考えるが市長の見解を伺う。</p> <p>②市長及び議員が無投票当選だったことにより、市民および職員からの求心力が低下することも考えられるが、市長の現状認識について伺う。</p> <p>③選挙準備期間に「変える、変わる」ことの必要性やそうした変化を求めている市民の声は多かった。3つの課題を取り上げてのまちづくりも重要だが、インパクトのあるスローガンや情報発信も必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>④3つのチャレンジの連鎖の中で将来夢ある世代の「子どもチャレンジ」「若者チャレンジ」は最も力を入れる必要がある。以前から「子ど</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>も議会」の議論がされて来たが、今後の方向性を伺う。</p> <p>⑤「大人チャレンジ」の地域自主組織によるまちづくりを一層進めるために、「同組織を強化する姿勢」との報道があったが、具体的には何をどう強化するのか伺う。</p> <p>⑥企業誘致には戦略が必要と考えるが、どのような戦略をもって進められているのか伺う。</p> <p>⑦神原企業団地は、市外からの企業誘致か、市内の地場産業の育成や事業所移転用地なのか、そうした目的意識を持った造成計画なのか伺う。</p> <p>⑧企業誘致を進める上で、神原企業団地の分譲は平成 31 年度中とされている。その間の企業誘致活動や企業団地の確保対策の考えを伺う。</p> <p>(3)「健康長寿・生涯現役を全うできるまちづくり」について</p> <p>①島根国体(1982年)から34年が経過し、現在2026年までは開催予定地が内定している。島根開催から半世紀後の2032年までに島根県への開催誘致に対し、県への積極的な働きかけが必要であるが見解を伺う。 (全国障害者スポーツ大会、日本スポーツマスターズ大会なども含め)</p>	
3	18	堀江 治之 (一問一答)	1. 速水市長 4 期目 4 年間の市政運営 について 2. ふるさと納税に	<p>(1)市長 4 期目 4 年間での最重点課題と、課題解決に向けての取り組み方針について伺う。</p> <p>(2)11月1日～3日に新聞報道された「雲南市政の課題」についてどのような取り組みを考えられているのか伺う。</p> <p>①尾道松江線の活用による企業誘致 ②地域自主組織の後継者育成 ③中心市街地活性化の実効伴う戦略</p> <p>(1)全国の自治体で積極的にふるさと納税が取り組まれているが雲南市</p>	市長 担当部長 市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			ついて 3. 空き家対策につ いて 4. 木質チップ事業 について 5. 介護保険制度に ついて	の現状について伺う。 (2) 県内自治体の取組状況について伺う。 (3) 県内他市と比較して納税額が少ない原因とその対策について伺う。 (1) 今年度策定されることとなっていた「空き家対策計画」の策定状況について伺う。 (2) 環境・衛生・防災(害虫・鼠・野良猫・落下物)等の対策をどのような考えで取り組むのか伺う。 (1) これまでの市内での木質チップボイラー導入の現状について伺う。 (2) 今後の木質チップボイラーの導入計画はどの様に考えているのか伺う。 (3) 他の熱源活用と経費的な比較はどの様になっているのか伺う。 (1) 市内の介護事業の施設・スタッフ等の現状について伺う。 (2) 「新総合事業」に向けての準備状況について伺う。 (3) 団塊世代が後期高齢者となり介護問題となる 2025 年問題解決に向け、どのような対策を計画されているのか伺う。	担当部長 市長 担当部長 市長 担当部長 市長 担当部長
4	8	細 木 照 子 (一 括)	1. 高齢運転者事故 多発の防止対策に ついて 2. 農協改革につい て	(1) 近年、高齢運転者による痛ましい事故が度々ニュースに取り上げられる。市内でも高齢者が積極的に野菜づくり等に活躍され、産直市へ軽トラックで出荷されている。その他、日常の買物や通院等で運転は欠かせない。しかし、個人差はあるが高齢になると誰でも視力が落ちたり、動作が鈍くなったりもする。このような高齢運転者をいかにして事故から守るのか。免許更新時の認知機能検査なども強化されるようだが、市の見解を伺う。 (1) 政府の農業改革で「規制改革推進会議」の農協改革提言があった。民主主義などを吹き飛ばすような感があり、啞然としている。民間組	担当部長 担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 大規模災害時における学校の避難対応について	<p>織で自主・自立を原点とする農協に対して考えられないような高圧的な提言であり、今の政権は農家をその程度にしか見ていないとはっきり認識できた。農協組合員も雲南市の市民である。市としての所見を伺う。</p> <p>(1) 東日本大震災では大川小学校の管理下で多くの児童、教職員が犠牲になられた。市内で大きな災害が発生した際の学校の避難対応について伺う。</p>	教育長
			4. 全国学力・学習状況調査について	<p>(1) 県教育委員会は、今年4月の小学6年生と中学3年生の全国学力テストの結果を公表した。総合順位で国語は全国平均を上回り、前年度より順位を上げた。小学6年の算数は挽回できたが、中学3年の数学は全国で数学Aが41位、数学Bが39位と低迷した。このことについて見解を伺う。</p>	教育長
			5. 「ふるさと住民票」制度について	<p>(1) 2008年に創設された「ふるさと納税」はかなり理解ができたが、この「ふるさと住民票」については、まだ耳新しい。この制度は市町村が居住していない人にも「まちづくり」参加を担保し、広報紙の無料発送や住民料金での公的施設利用など独自の公共サービスを提供する仕組みである。</p> <p>全国に先駆けて導入した鳥取県日野町では、ふるさと住民票の登録者が100人を突破したといわれる。市町村PRとしては良い反響があるようだが、見解を伺う。</p>	担当部長
			6. 水田放牧について	<p>(1) 中山間地域の水田耕作維持も、高齢化や有害鳥獣被害で厳しいところがあるが、今は水田で放牧する農家が出てきているといわれる。水稻栽培に行き詰った場所等で発想を換えてみるのも興味深い面がある。市の地域性等を考慮して、水田放牧を指導する考えはないか伺う。</p>	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			7. クマの出没対策 について	(1)今年10月末時点で、県内のツキノワグマ目撃件数が、昨年比べて倍増し、952件にのぼっている。これは今までで、最も多いペースらしい。今年のように柿がたくさんなっていると熊が食べに出ると言われる。6月には浜田市で釣り人が川で襲われ重傷を負っている。市としてクマの出没対策が考えられているか伺う。	担当部長
			8. ハチの功罪につ いて	(1)住宅地に多く発生するのがキイロスズメバチである。スズメバチに刺されると命にかかわることがあるため、十分な注意が必要である。巣を見つけた場合は、専門業者に依頼して早めに駆除することが必要である。 。一方でミツバチは近年元気がなく、数が激減しているといわれている。農薬の影響が指摘されており、農業へも深刻な影響が出始めているようだ。ハチにより功罪があるが、その対策について見解を伺う。	担当部長
5	6	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 除雪対策につ いて	(1)本市の除雪作業を担ってきた市内の建設業者が減少している。大東町内では昨年から今年にかけて3社が廃業・倒産に追い込まれたが本市として除雪作業への影響をどう捉えているのか。 (2)業者の減少により1社で多くの路線の除雪を受け持つと思うが、過度の負担にならないのか。 (3)1業者が受け持つ範囲が多くなることで時間がかかり、除雪の終了が遅れるのではと懸念されている。自主組織等へ除雪計画の内容は通知はなされているのか。また、打合せはされているのか。 (4)今後、除雪業者の減少に伴う様々な弊害が予測されるが、対策として各自主組織に除雪機械を配備し地域でオペレーターを準備する対策が今以上に充実できないか伺う。	担当部長
			2. 市内の道路・公	(1)本市ではどのようにして市内の道路・公共施設等の危険箇所の把握	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>共施設等の危険箇所 の把握について</p> <p>3. 高齢者の免許自主 返納について</p>	<p>をしているのか伺う。</p> <p>(2) 一般市民の皆様から直接連絡はあるのか。あるのなら年何件くらいあるのか伺う。</p> <p>(3) スマートフォンを使用し、道路の危険箇所や公園遊具の故障など地域の問題を気付いた時に連絡できる市民参加の制度を実施されている自治体もある。本市も運用する考えはないか伺う。</p> <p>(1) 現在、本市で 65 歳以上で免許を所持している方の割合は何%くらいか伺う。</p> <p>(2) 平成 26 年 3 月 26 日付けで、雲南市高齢者等運転免許証自主返納に係る支援事業実施要綱が告示されたがその成果は出たのか。何件の自主返納があったのか伺う。</p> <p>(3) 本市として、運転免許証を自主返納された方への支援を今以上に充実して行く必要があると思うが見解を伺う。</p> <p>(4) 今後、国においても高齢者の免許証自主返納の議論は高まっていくと思われる。本市においても高齢者ドライバーは増加する一方だが、本市ならではの対策が必要と考えるが見解を伺う。</p>	<p>担当部長</p>
			<p>4. インフルエンザ 予防接種について</p>	<p>(1) 予防接種法により 65 歳以上の高齢者には一定の補助があり安価で予防接種を受けることが出来るが、それ以外の方は任意のため定額での接種となる。幼児・小学生もその対象者で 2 回の接種が必要だが、現在、13 歳までの子どもが予防接種を受けた割合は何%位か伺う。</p> <p>(2) 予防接種の料金は各医療機関で設定されるとのことだが、市内医療機関の料金はいくらか伺う。</p> <p>(3) 13 歳以下の子どもは 2 回の接種が必要で高額となるため接種を断念したとの声を聞いた。市として補助することはできないか伺う。</p>	<p>担当部長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
6	4	中 村 辰 眞 (一問一答)	1. 瑞風バスについて	(1)待望の「トワイライトエクスプレス瑞風」が来年6月17日に運行を開始する。 ①立ち寄り観光などで利用する専用バス「瑞風バス」の運行も発表された。雲南市における立ち寄り観光にも「瑞風バス」が使用される予定であるのか伺う。 ②吉田町の「がっこうまえ橋」は大型バスがスムーズに曲がれず何回も切り返しが必要である。瑞風バスの運行を機会に改修が必要と考えるが、見解を伺う。	担当部長
			2. 食品ロス削減について	(1)日本では年間 2,797 万トンの食品廃棄物が発生しており、このうちの 4 割近い 632 万トンが食品ロスと推計されている。 ①本市の小中学校、幼稚園、認定こども園、保育所における給食の食べ残しの現状について伺う。 ②子ども達に対して給食や食育・環境教育などを通し、食品ロス削減のための食育教育を進めるべきと考えるが、本市の取り組みの現状を伺う。 ③教育現場だけでなく、官民一体となった食品ロス削減に向けての取り組みを進めることが重要であると考えている。「飲食店で残さず食べる運動」や「持ち帰り運動」の展開が必要になってくると考えるが、見解を伺う。 ④長野県松本市は、会席での食べ残しを減らすため、乾杯後の 30 分と終了前の 10 分は自席で食事を楽しむ「残さず食べよう！30・10運動」を市長の提案で6年前から進められ、市役所から企業に広まっている。本市でも「30・10運動」に取り組んではどうかと考えるが見解を伺う。	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. プレミアム商品券について	<p>⑤安来市社会福祉協議会は 2014 年 9 月より生活困窮者へ無償提供する「フードバンク」を開始している。全国でも珍しく独自の「フードバンク」を展開していくための取り組みづくりにも力を入れ、本年度から食品関連企業の協力を得ながら、「登録型フードバンク」を開始することとなった。「フードバンク」に対する本市の見解を伺う。</p> <p>⑥災害備蓄食品の消費期限後はどのように活用されるか伺う。</p> <p>(1)プレミアム商品券発売の日に加茂町で販売方法についての意見をいただいた。</p> <p>①発売日の発売所では朝 7:00 から並んでいる方がいて午前中には完売するほどの人気であった。即日完売しなかった前回との相違点について伺う。</p> <p>②発売当日午前中の完売は想定されていたのか伺う。</p> <p>③並ぶことが困難な方々が購入できなかった実態がある。公平に購入できる販売方法の確立が必要と考える。見解を伺う。</p>	担当部長
			4. 市役所のセキュリティ対策について	<p>(1)11 月 14 日午後、市役所インフォメーションに飲酒状態の来庁者があった。かなり対応に苦慮されていた。</p> <p>①開庁時と閉庁時の警備体制について伺う。</p> <p>②庁舎内における非常時対応マニュアルの有無を伺う</p> <p>③庁舎内共用スペースでの飲食の可否を伺う。</p> <p>④今回のようにインフォメーションでの対応に限界がある時、どのように対応されているのか伺う。</p> <p>⑤セキュリティ対策の一環としてインフォメーション内に緊急ヘルプスイッチを設置し、他所へ応援を求めるようにしてはどうか。見解を伺う。</p>	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
7	3	松林孝之 (一問一答)	1. 観光戦略について 2. 子育て支援について	<p>(1)映画「たたら侍」のロケセット「たたら村」が10月2日まで開催され、全国から多くの方が訪れた。来年夏の映画公開に向け、これからの観光戦略を伺う。</p> <p>①来年夏の公開までに、ご当地として先行発表や試写会は開催されるのか。</p> <p>②7月11日から10月2日までの来場者数と、その内訳(県外・県内・市内)を伺う。</p> <p>③周辺整備にハード・ソフトで3千万円投じられた。当地域における経済効果はどうであったか。</p> <p>④ロケ地の今後はどうするのか。</p> <p>⑤県の公式プロモーションとして「ご縁の国しまね…島根には本物がある…」というPRビデオを公開している。多くの本物を有している本市の観光資源をどう展開していくのか。</p> <p>⑥これまでも映画「うん、何？」をはじめ、多額の投資をしてきた。これまでの興行でどのような実益が上がったのか。また、これからはどのような戦略で関わっていくのか。</p> <p>(1)人口の社会増が最大のテーマとされる中、子育て世代の移住定住支援策は待ったなしの課題であり、待機児童があってはならない。支援策について伺う。</p> <p>①現在の待機児童数と今年度これまでの経過は。</p> <p>②6月定例会の一般質問でゼロを目指すと言われたが、その具体策は。</p> <p>③子育て支援策のひとつである放課後児童クラブの現状は。</p> <p>④子育て世代の移住定住を推進するには、そのニーズに答えなければ結果は伴わない。住宅関連施策と並行して、子育て支援策のハード・</p>	<p>産業振興部長</p> <p>市長</p> <p>子ども政策局長</p> <p>市長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				ソフトを同時且つ緊急に遂行すべきでは。	
8	7	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 市単独補助金の 執行方法について	(1)雲南市自治会集会所建設事業補助金の採択基準見直しは、好評でタイムリーだったものと評価するが、次の点について伺う。(市民の契約に関するもの。政策企画部、産業振興部、建設部共通) ①同事業で、交付申請から交付決定までの期間は約 40 日だった。市単独事業の交付申請から交付決定までの標準処理期間はどれ位か。 ②同事業で、実績報告書及び補助金交付申請書提出から補助金交付までの期間は、約 57 日だった。標準処理期間はどれ位か。 ③全体事業費 200 万円、補助率 30%の事業の場合、市の補助金交付システムは、地元にとりあえずは 200 万円の資金を調達することを求め、後で 30%の補助金分を補填する考えのようだが、これは地元に残計な負担を求めることにならないか。 ④地元負担を掛けないためには、工事完了前の全額概算払いをしてはどうか。	担当部長
			2. 選挙人名簿の閲 覧について	(1)今回の市議会議員選挙に関して選挙人名簿を閲覧する機会があったが、その取扱について伺う。 ①選挙管理委員会が作成するこの名簿の性格は何か。 ②選挙人名簿は情報公開条例に該当するのか。 ③この閲覧に対して、転記は認めるが写真あるいはコピー等是对応出来ないとされている。情報公開条例は、このような開示の仕方を認めているのか。 ④閲覧者には大変不便だと考えるが、改善は出来ないのか。	担当部長
			3. 木戸道の整備に ついて	(1)公道から個々の家までには様々な木戸道が存在する。山間部に行くほど、だんだんタクシーあるいはディサービスの送迎車輛を利用するに当	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 空き家対策について	<p>たつて、幅員が狭い、回転場がない等で、家の前まで来て貰えない状況がある。</p> <p>①こうした実態は把握されているのか。</p> <p>②市道と私道について、市が整備するに当たっての違いは何か。</p> <p>③除雪についても、私道は個人責任のようだが、それで割り切るのも不合理な面がある。考え方を伺う。</p> <p>④何れにしても、木戸道が長く不自由を来している方が多いが、解決策はないか。</p> <p>(1)2年前の12月定例会で空き家対策について質問したが、今後、国において関係する法律(特措法)も施行されるので、それを待って条例を検討すると回答されたと思う。その後、条例が制定されたとは聞いていない。</p> <p>①現在、空き家条例についてはどうなっているのか。</p> <p>②空き家は利用という前向きの面と危険家屋として撤去という2面性を有している。迷惑物件としての相談もあると聞くが、どのような内容でそれに対してどう対応されているのか伺う。</p> <p>③強制撤去という強権を持った条例制定が望まれているが、どう対応するのか伺う。</p>	担当部長
9	2	中 林 孝 (一問一答)	1. 木次線の存続・活性化に向けた取り組みについて	<p>(1)木次線は雲南市、雲南市民にとって重要な社会インフラと考え何としても存続・活性化させていかなければならないと考える。木次線存続に向けた取り組みについて基本的考え方・決意を伺う。</p> <p>(2)木次線の現状について伺う。</p> <p>(3)過去の利用者数(例えば年間利用者数とか人キロなどのデータ)の推移や営業係数について伺う。</p>	市長 担当部長 担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(4)木次線の将来像についてJR、その他関係団体(国交省、島根県、奥出雲町や観光協会等)と協議された状況(方向性や確認事項)について伺う。</p> <p>(5)利用客数の低下に歯止めをかけるためには観光客を増やす方法も考えられる。トロッコ列車の老朽化も進んでおり更新時期を迎えつつある。一方、来年から山陰線には「瑞風」の運行が開始される。「瑞風」の乗客を専用バスだけではなく木次線の乗客として誘客することは十分考えられる。トロッコ列車の更新に併せ実現に向けた取り組みができないか伺う。</p> <p>(6)ちどり号復活といったイベントを通じて呼び込む取り組みも考えられる。そういった取り組みはできないか。</p>	<p>担当部長</p> <p>市長</p>
			2. 建設産業対策 について	<p>(1)平成以降、市内の建設業者数と公共工事受注高、就業者数の推移について伺う。</p> <p>(2)建設業者は冬季の除雪作業、災害時の緊急支援といった重要な役割を担っている。今後も建設業はなくてはならない産業だと認識しているが、建設産業の存続に向けた対応策について伺う。</p> <p>(3)建設産業の存続のためには、異分野への進出や経営の多角化、経営革新など様々な取り組みも方法として考えられる。市単独あるいは国や県と共同してできることはないか。</p> <p>(4)大東町遠所地内の県道で落石事故があり現在でも通行できない状況が続いている。一步間違えば大事故に至った可能性もある。県管理の道路とはいえ決して他人事ではない。対応方針について伺う。</p>	<p>担当部長</p> <p>市長</p> <p>担当部長</p> <p>担当部長</p>
10	1	上代和美 (一問一答)	1. 市長の政治姿勢 について	<p>(1)市長の基本的な政治姿勢とは何か。</p> <p>(2)11月7日付の山陰中央新報の記事で「声なき声に耳を傾ける」とあ</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 町づくりについて	<p>るが、選挙中具体的にどんな声が「声なき声」としてあったのか伺う。</p> <p>(3) 地方自治の本旨は何か。市政運営にあたって、最も大切に、肝に銘じていることは何か。</p> <p>(1) 中心市街地活性化事業について</p> <p>① 事業内容、全事業規模、財政的裏づけ、市はどれだけの財政出動が必要なのか。</p> <p>② 運営は誰がするのか。運営についての市の財政的な責任はどうか。</p> <p>③ 今頑張っておられる既存の施設(道の駅など)、または商売をされている方々との競合にはならないのか。清嵐荘の改築、ホテルの建設には整合性はあるのか。今営業されている施設との競合にはならないのか。</p> <p>④ 市は庁舎建設、市立病院建設、清嵐荘改築など大きなプロジェクトを進めているが、合併後 10 年以上が経ち、普通交付税も年次的に減らされ、平成 32 年からは合併時より 10.1 億円も少なくなると聞いている。市民生活が犠牲になるような影響が出るのではないかと。財政見通しを伺う。</p> <p>⑤ 町づくりは旧町村の生活圏を活かしながら、そして市と他市との違いを見据え、派手ではなくても、地域資源の特徴を活かしたまちづくりをしていくべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 今、市が最優先すべきことは何なのか。</p> <p>① 国民健康保険料の軽減について</p> <p>ア) 2016 年度も 5.4%の保険料値上げとなっている。市民には耐え難い負担である。どこに問題があると認識しているのか伺う。</p> <p>イ) 国保が社会保障制度である以上、健康保険が保険料を事業所と被保険</p>	<p>市長</p> <p>担当部長</p> <p>担当部長</p> <p>担当部長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>者の折半で支払われているように、国庫負担を今の約4分の1から元の2分の1に大幅に増額することが不可欠と考えるがどうか。(国保総会計に占める国庫支出の割合は、1984年度約50%から2009年度24.7%に半減)</p> <p>ウ) 私たちが行った市民アンケートでも要望が最も多かったのが国保料の軽減であった。市民生活を守る最後の防波堤として一般財源の繰り入れや本来保険料である基金を取り崩して保険料を下げる考えはないか伺う。</p> <p>②子どもの医療費について</p> <p>ア) 市の17歳以下の子どもの貧困率、生活保護以下の収入で暮らす子育て世代はどれぐらいか。(実数)</p> <p>イ) 子どもの貧困化、子育て世代の財政的負担の厳しさの中で、子育て応援施策として高校卒業までの医療費無料化の決断はないか伺う。</p> <p>③就学援助の支給時期について</p> <p>ア) 入学時の準備には多くの出費がかかり、子育て世代には大変な負担となっている。入学準備金は最も必要とされる3月支給をしていただきたいがどうか。</p> <p>イ) 文科省より「児童生徒が援助を必要としている時期に速やかに支給出来るよう十分に配慮するよう通知している」ということだが、なぜできないのか伺う。</p> <p>ウ) 困難をかかえている方々から毎年のように要望を聞いているが、支給する工夫や努力があったのか伺う。</p> <p>エ) 他の自治体でもすすめられている。県内でも美郷町が実施している。予算が増えることなく、これらの困難な方々が救われる、前倒しの予算措置を行う考えはないのか。</p>	<p>市長</p> <p>担当部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>担当部長</p> <p>担当部長</p> <p>市長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>④水道料金値上げについて</p> <p>ア) 値上げの経過を伺う。</p> <p>イ) 政府の「経済・財政再生計画」に基づいて、水道事業の広域化を図ろうとするものである。企業会計には最もなじまない簡易水道事業を水道事業に組み込むこと自体に無理があり、最も基本的なインフラである水道事業がますます料金値上げや給水地域の合理化が進むのではないかと。</p> <p>ウ) 水は最も基本的なインフラであり、困窮者が水道料を払えず水道が止められるようなことがあっては、生存権にもかかわる大問題である。安来市では福祉政策的な観点から、新たに基本料金について減免制度を導入している。そういった考えはないか伺う。</p> <p>エ) 水道事業が公共の福祉の増進に寄与することを目的とした事業であり、市のように地理的条件の困難な地域ではこのようなやり方では市民の負担、市の負担も大きくなることが予想される。国へ支援策の要望をあげていくべきではないか。</p> <p>⑤介護保険について</p> <p>ア) 現在の「新しい総合事業」の進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>イ) 利用者や事業者への影響はどうか。</p> <p>ウ) 利用者の皆様へこれまで通りのサービスが提供できるのか。</p> <p>エ) 体制としては広域連合で引き継ぐのか、各自治体なのか。</p> <p>ウ) 利用者や家族の皆様の不安がないように、制度移行を進めていく責任は誰にあるのか伺う。</p> <p>(3) 市長がよく用いられる「安心、安全なまちづくり」とは何なのか。</p>	<p>担当部長 担当部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>担当部長 担当部長 担当部長 市長</p> <p>市長</p>
1 1	15	細 田 実 (一問一答)	1. 人口対策と周辺 地域の整備につい	(1) 人口の社会増が所信で述べられている。中山間地域においては周辺地域の整備なくして人口の社会増はない。中心市街地活性化も周辺地域か	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			て	らの購買力なくしては成り立たないのではないか。中心市街地活性化計画で掲げられた課題は周辺部での課題でもあると考えるが、市長はどう考えるか。	
			2. 安全安心な社会 づくりについて	(1)安全、安心なまちづくりの第一に原発に頼らない社会を旨とするを掲げられたことは、時宜を得た表明だ。中国地方では原発に頼らず電気の供給が行われており、これを継続することこそ重要だ。自然エネルギーの一層の普及など必要と思うがどう対策するのか。 (2)県は原発事故に備え安定ヨウ素剤の配布の対象を広げたと報じられているが、市の対応を伺う。	市長
			3. 観光対策について	(1)「出雲たたら村」イベントは20万人の目標に対し、6万人の入場との報告であった。目標に届かなかった原因はどこにあるのか。 (2)菅谷たたら山内を訪れる観光客が多いと聞くが受け入れ体制の充実は必要ないのか。	市長
			4. 教育行政について	(1)新教育長の所信を伺う。	教育長
			5. 開かれた行政について	(1)市民の間に地域自主組織を通さないと要望が市長に伝えられないとの認識が広がっている。市民の請願権は保障されなければならない、住民一人でも気軽に市長に面会して要望できる開かれた行政とすべきではないか。また、先進自治体ではインターネット、郵送による要望受付、またその回答含めネット公開している自治体もある。そういった先例を取り入れるべきではないか。	市長
1 2	11	藤原政文 (一問一答)	1. 市長の基本姿勢 について	(1)「徹底した情報公開」を最近、耳にしなくなった。満足の域に達したため仰らなくなったのか。情報公開に対する評価と姿勢について伺う。 (2)異例の議会からの申し入れがあったと議員広報紙で知った。改めて、	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 人口と各種計画 について	議会との関係を伺う。 (1)平成 36 年推計では 35,029 人、雲南市目標 36,500 人と 1,500 人の差がある。この差で、 ①財政面にはどのような影響があるか。 ②中心市街地活性化事業にどのような影響があるか。 ③各種計画にどのような影響があるか。 ④市立病院にどのような影響があるか。 ⑤推計値通りに推移した場合の対策について、どのように考えているのか。	市長
			3. 医療・介護につ いて	(1)定住するためには不可欠、また UI ターン先を選択するうえで大きな決定要素になる「医療・介護」は重要である。市における「地域包括ケアシステム」の現状、課題、方向性について伺う。	市長
			4. 教育・子育てに ついて	(1)教育に対する保護者の意見は、どこでどのように吸い上げるのか。 (2)「ママパパ会議」は、どのように発足し、どのようなことが、どの程度、施策に反映できるのか。 (3)複式学級の解消についての考え方を伺う。	市長
			5. 産業振興・雇用 について	(1)造成中の神原企業団地には、どのような企業の誘致を考えているのか。 (2)昨年 9 月に土江議員から質問のあった「道路ののり面」の草刈りについては、その後、どのような検討がなされ、現在、どのようなになっているのか。	市長
13	10	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 有害鳥獣対策に ついて	(1)例年以上に人家近くに熊が出没している。注意喚起の告知放送の中で「収穫しない柿など不要な果樹は可能な限り伐採しましょう」とあり、人の財産を何とと思っているのかという苦情が寄せられた。市の見解を伺	農林振興担 当統括監

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 雲南市立病院のあり方について	<p>う。</p> <p>(2) イノシシも例年以上の捕獲頭数のようだ。11月から2月までの猟期は奨励金は出ないことになっているが、市の駆除班が捕獲したものについては出すべきではないか。</p> <p>(1) 県が策定する「地域医療構想」と整合する形で、今年度中に「新公立病院改革プラン」を策定し、改革に取り組むよう国から要請されているが、どういう状況か。</p> <p>(2) 平成30年春の供用開始に向けて新しい本館病棟の建設が進められている。建物や設備などハード面を新しくするだけでなく、これを機に、提供するサービスなどソフト面の充実強化を図り、基本理念に掲げる「地域に親しまれ、信頼され、愛される病院」を目指さなければならない。どのような具体的な取り組みをしていくのか。</p>	<p>農林振興担当統括監</p> <p>病院事業副管理者</p> <p>病院事業副管理者、(市長)</p>
			3. 木次子ども園建設について	<p>今年度中に基本計画を策定することとしているが、単なる建替ではなく、より良いものをつくっていくには、先を見通したしっかりとしたコンセプトがなければならない。斐伊川水辺の楽校や地域とのつながり・交流をいかに生かしていく考えか。</p>	<p>子ども政策局長、(市長)</p>
			4. 永井隆記念館の整備について	<p>永井隆記念館は、平成31年度に現在地での建替をすることとし、現在基本構想作成中である。現状を引き継ぐだけの建替はダメで、平和教育の拠点であることはもとより、より拡大したコンセプトをもった教育のまちにふさわしい生涯学習・教育の拠点とすべきだ。</p>	<p>教育長、(市長)</p>
			5. 高校魅力化の支援について	<p>今春、三刀屋高校には3名の県外からの入学者があった。しかし、寮は老朽化が進んでおり、受け入れるには申し訳ない状態にある。県へ抜本的改修を要望しているが、限られた予算で優先順位もあって、早急な対応を見込めない。市として何らかの対応策がとれないか。</p>	<p>市長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			6. 山村留学について	田園回帰の流れが広がりつつある。山村留学は自然体験・農村での暮らしで生きる力を育むものであり、「日本の新しいふるさとづくり」を目指す雲南市にとって、課題はたくさんあると思うが、長い視点から観ると、取り組んでいくべきではないか。	政策企画部長、(教育長)
			7. 不登校対策について	学校に通うことが困難な子どもたちの支援をしている「おんせんキャンパス」の取り組み成果と今後の展開について伺う。	教育長、(市長)
			8. 受動喫煙防止対策について	わが国の、受動喫煙防止対策は世界最低水準で、今後、強化することだ。雲南市のこれまでの取り組み内容と成果はどうであったか。また今後の取り組みを伺う。	健康福祉部長
			9. 下水道への接続について	土地開発公社が分譲する宅地は、下水道本管から宅内の公共マスまでは施工してあるが、個人が宅地造成した場合は、かなりの費用を負担して個人が行なわなければならないようだ。市が行うか、あるいは、負担の軽減策を講じるべきではないか。	上下水道部長
			10. 地域経済をまわす取り組みについて	(1)グローバル経済下だからこそ、ローカル経済をまわしていかないと、ますます地方は疲弊する。「人、モノ、カネ」をまわす仕組みや仕かけが重要で、現在まだ見えないが、どのような施策を具体的に展開するつもりか。 (2)地域通貨「里山券」は良い取り組みであるが、効果は広がりがなく限定的だ。地域通貨の可能性について、研究・検討すべきである。	産業振興部長 産業振興部長
			11. さくらのまちづくりについて	市の花であり、日本人にとって一番思い入れのある「桜」だが、合併以降「さくらのまちづくり」は残念なことにあまり聞かれなくなってしまった。「さくらのまちづくり」の計画・構想を立て目標をもって取り組むべきだ。	副市長